

第9回日本ケータイ小説大賞

「第9回日本ケータイ小説大賞」受賞作決定！
大賞は miNatoさんの『また、キミに逢えたなら。』
3月25日全国書店にて発売！

株式会社毎日新聞社(本社:東京都千代田区一ツ橋1-1-1、代表取締役社長:朝比奈豊)、スターツ出版株式会社(本社:東京都中央区京橋1-3-1、代表取締役社長:菊地修一)で構成する日本ケータイ小説大賞実行委員会は、読者投票、実行委員会、および審査員による審査を行い、大賞1作品(賞金50万円&東京ディズニーリゾート®ペアチケット&宿泊券)、優秀賞2作品(賞金10万円)など第9回日本ケータイ小説大賞の入賞作品を決定しました。入賞作品は順次書籍化を予定しており、auのスマートフォン&パソコン向け電子書籍サービス「ブックパス」などでも配信されます。今回の応募総数は2,053作品でした。27日13時より「パセラリゾートグランド渋谷」にて表彰式を行います。

受賞作品詳細はこちら >> <http://nkst.jp/pc/index.php>

	著者名	作品名
大賞	miNato(みなと)	『また、キミに逢えたなら。』
優秀賞	cheery(ちえりー)	『キミのイタズラに涙する。』
優秀賞	幸(さち)	『天国への切符』
TSUTAYA賞	cheery(ちえりー)	『キミのイタズラに涙する。』
ブックパス賞	miNato(みなと)	『また、キミに逢えたなら。』
特別賞	美波 夕(みなみゆう)	『あそこになりたい』
ケータイ小説文庫賞	ちせ(ちせ)	『あと、11分』
ケータイ小説文庫賞	西羽咲花月(にしわざき かつき)	『彼氏人形』

※名前はいずれもペンネーム。()は読みがな。

■「第9回日本ケータイ小説大賞」概要

主催：日本ケータイ小説大賞実行委員会（毎日新聞社、スターツ出版）

協賛：TSUTAYA

特別協力：KDDI

審査員：永野芽都（新潮社「nicola」レギュラー出演中）
鈴木美羽（新潮社「nicola」レギュラー出演中）
加藤有香（株式会社TSUTAYA 商品本部BOOK部TBNユニット BOOKMDチーム）
中嶋奈津子（KDDI株式会社新規ビジネス推進本部 auスマートパス推進部 主任）
内藤麻里子（毎日新聞社 編集編成局 学芸部 編集委員）
篠原康子（スターツ出版 書籍コンテンツ部第1書籍編集長）

（敬称略）

大賞・ブックパス賞

『また、キミに逢えたなら。』 miNato

miNato

兵庫県三田市在住の20代。職業は看護師。おいしいモノを食べに地方まで出向くこと、家でひとりまったり過ごすことが好き。2015年1月文庫『イジワルなキミの隣で』(スタート出版刊)で作家デビューし、この3月に本作で第9回日本ケータイ小説大賞の他誌法を受賞した。現在は、ケータイ小説サイト「野いちご」にて活動中。

作品紹介

高1の夏休み、肺炎で入院した莉乃は、同い年の美少年・真白に出会う。重い病気を抱え、すべてをあきらめていた真白。しかし、莉乃に励まされ、徐々に「生きたい」と願いはじめる。そんな彼に恋した莉乃は、いつか真白の病気が治ったら想いを伝えようと心に決めるが、病状は悪化する一方で…。

審査員：永野芽郁氏評

命の大切さや相手を想い続ける強い気持ちにすごく感動しました。莉乃や真白の顔が浮かび、先が気になって仕方がなかったです。2人の恋は運命だったと思うし、真白のことが好きで好きで助けたいと思う莉乃の気持ちも、莉乃が好きで待ち続ける真白の気持ちも本当に素敵でした。友達にも薦めたい作品です。

審査員：鈴木美羽氏評

途中からずっと泣きっぱなしでした。シローくんの独特な雰囲気すごく惹かれ、ふたりのピュアな恋のシーンは読んでいて幸せな気持ちになりました。その分後半は衝撃の連続で、読み終わった瞬間友達にも読んでほしいと思いました。親友や家族との関係なども含めて、中学生の憧れ要素がギュッと詰まった作品だと思います。

審査員：加藤有香氏評

人の死に向きあう、主人公二人の姿が心に強く残り、この年頃ならではの、ひたむきさが上手く描かれています。出会いの場面をはじめとする、印象的なシーンが多く、最後まで引き込まれる作品でした。

審査員：中嶋奈津子氏評

主人公の莉乃が、生きることを諦めていた真白とまっすぐに向き合い「生きてほしい」と思いをぶつけるシーンがとても印象に残っています。素直で純粋なキャラクターたちが、健気に相手を想い合う姿に純粋に泣けました。また、終盤の展開が思いもよらず一気に読み終えてしまいました！文章力・描写力も素晴らしく、是非多くの方に読んでいただきたい作品です。

審査員：内藤麻里子氏評

「病気」は、候補作によく登場する題材ですが、病気に絶望している少年心理や家族を描いた点が目新しく、飽きずに読めました。場所や状況の描写が丁寧で、ドラマ性もうまく計算されています。小学生の頃のお節介エピソードなど小技がきき、登場人物の使い方もうまい。なかなか衝撃の展開で、強引ではありますが予想外でおもしろかったです。

審査員：篠原康子氏評

ケータイ小説では、あまり類を見ないドナーもの設定で新しさがあります。丁寧な情景描写とテンポよく展開していく物語を通して、純粋に人を愛することの切なさや尊さ、生きる意味、命の大切さなど、心に沁みるメッセージがいっぱいです！主人公ふたりのそれぞれの想いが錯綜する“衝撃のラスト”には、思わず号泣です！

優秀賞・TSUTAYA賞 『キミのイタズラに涙する。』 cheery

cheery

東京都在住。9月生まれ。バスケットをするのが好きな学生。趣味は漫画を読むこと。2013年に『イジワル男子の愛情表現』で野いちごグランプリ・ピンクレーベル賞を受賞し、デビュー。その後『ゆる恋～毒舌彼氏と甘い恋』『恋愛日記』『好きなんで、言えるかよ。』と話題作を続々発表(すべてスターツ出版刊)。現在は、ケータイ小説サイト「野いちご」にて活動中。

作品介绍

高校1年の沙良は、イタズラが大好きなイケメン・隆平と同じクラスになる。いつも温かく愛のあるイタズラを仕掛ける彼に、クラスメイトからイジメを受けていた満は救われ、沙良も惹かれていく。翌年、思いきって隆平に告白した沙良。しかし、返事を保留にしたまま隆平は急性白血病で倒れてしまい…。

審査員:鈴木美羽氏評

隆平の優しく温かいイタズラにワクワクしました。沙良と隆平のふざけあいがかわいく、満や梓のキャラも良くて私もその中に入りたくなるほど魅力的な4人でした。苦しみを1人で背負おうとする隆平のたまに見せる弱さはとても切なかったです。沙良の隆平への強い想いも伝わってきました。実写化されたら見てみたい作品です！

審査員:加藤有香氏評

正しいことを表現できる強さを主人公たちが持っており、読んでいて勇気をくれる作品でした。前半と後半でそれぞれ別の意味での“泣ける”展開が上手く組み立てられており、著者の書きたかったことが強く伝わってきました。

審査員:篠原康子評

「愛のあるイタズラで人を喜ばせ、幸せを与えていく」、そんな隆平のキャラクターが新鮮でキラリと異彩を放っています。初めて人を恋する気持ちや、イジメから救い出す展開……など、登場人物たちの成長感ある日常が描かれていて共感度大！最後の最後で謎が解ける、隆平の一世一代のイタズラに、溢れる涙が止まりません!!

優秀賞 『天国への切符』 幸

幸

大阪市在住。典型的なO型女子。生涯ずっと青春！をモットーに生きているポジティブ人間。楽しいことが大好き。たこ焼きを焼くのがかなり上手い。ケータイ小説活動歴は長く2007年に『Rain』でデビュー。その後『恋色オレンジ』『恋心』と話題作を続々発表(すべてスターツ出版刊)。現在は、ケータイ小説サイト「野いちご」にて活動中。

作品介绍

あるきっかけから両親とすれ違うようになった高1の真優は、家族のことを面倒くさく感じている。彼氏に浮気され別れることになったことを誰にも言えずに明るく自分を演じていた頃、真優のクラスに転校してきたのが、幼なじみの吉岡。吉岡によって真優は少しずつ変わり始めるが、ある日目の前で母親が車にひかれてしまい…。

審査員:永野芽郁氏評

「伝えたいことは、その時に言う」ということの大切さなど、多くのメッセージが伝わってきました。お母さんの真優に対する優しさにもすごく感動しました。この年齢だからこそ悩むことや苦しいことがたくさん描かれていて、吉岡の言葉で少しずつ変わっていく真優を「がんばれ!!」と応援しながら夢中になって読みました。

審査員:中嶋奈津子氏評

親への反発、学校でのいじめがリアルで、中高生の等身大が描かれている作品だと思います。主人公の真優が、徐々に人を思いやる優しい女の子に変わっていく姿が魅力的で応援したくなります。恋・友情・家族……大切な存在に気づいて成長していく様子を、10代の皆さんに広く伝えたいです。

審査員:内藤麻里子評

いじめ、介護、児童虐待など家族問題に果敢に取り組み、みんな一生懸命生きようとする姿が感動的に描かれています。多彩なドラマを展開し、しかも一つ一つのエピソードに厚みがある。随所に人生や女子高生の日常をうまくつかみ取った表現があり、はっとさせられました。主人公の心理描写が独りよがりでない点も秀逸です。

特別賞
『あのこになりたい』 美波 夕

美波 夕

2007年からケータイ小説サイト「野いちご」にて活動をしている、活動歴の長いケータイ小説作家。
今回の受賞で初の書籍化となる。

作品介绍

母親に厳しくしつけられ、高校に入っても反抗できない日々を送る咲。優等生だった兄はいじめにあって引きこもりになり、家族はバラバラだ。そんな時、兄の同級生シュンに出会う。シュンは兄を外に連れ出すことに成功。感謝する母だが、咲とシュンの関係を疑い彼を悪く言っていた。そんな母に咲は、とうとう本音をぶつけるが…。

ケータイ小説文庫賞・ブルーレーベル
『あと、11分』 ちせ.

ちせ.

ツンデレを糧に生きている。2015年4月に『やばい、可愛すぎ。』が書籍化(スターツ出版刊)予定。
現在は、ケータイ小説サイト「野いちご」にて活動中。

作品介绍

高校1年生のスイには、突然ぽっかりと記憶が抜け落ちる瞬間がある。違和感を感じていると、制服を着た少女、シキに出会った。どこのクラスかもわからず、いきなりスッと消えてしまう不思議なシキ。スイは彼女に会うとなぜか、大好きな気持ちと悲しみの気持ちがわきおこる。彼女はシキの過去を知っているようで…。

ケータイ小説文庫賞・ブラックレーベル
『彼氏人形』 西羽咲花月

西羽咲花月

岡山県北部在住。田舎と読書とコスプレを愛しながら、とてつもなくマイペースに暮らしている小動物のような生き物。
2013年に『爆走LOVE★BOY』でデビュー。近刊に『リアルゲーム～恐怖は終わらない～』(すべてスターツ出版刊)。
現在は、ケータイ小説サイト「野いちご」にて活動中。

作品介绍

高2の陽子は、クラスメイトから“理想的な彼氏が作れるショップ”を教えてもらう。顔、体格、性格と、すべて自分好みの人形と恋愛疑似体験を楽しもうと、陽子は軽い気持ちで彼氏人形を購入する。だが、彼氏人形はその日から徐々に凶暴化していき…。人間を恐怖のどん底に追い込む彼氏人形の正体とは!?衝撃のラストは圧巻!!

【この件の問い合わせ先】

第9回日本ケータイ小説大賞
広報担当(スターツ出版株式会社内)

〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1八重洲口大栄ビル7F

TEL:03-6202-0311 FAX:03-6202-0400

担当:佐々木、吉沢